

花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ園立ててく4

国立市立国立第七小学校

平成29年3月3日 NO.97 (397)



クワゴ (カイコガ科)

オー君 「モンタ博士！これは、カイコげんしゅの原種しやしんのクワゴの写真ですね。」

モンタ博士「そうだよ。きのう、いろいろなガはなしのまゆのお話があったでしょ。それに、2月の『わくわく発表会』で3年生がカイコはっぴょうの発表したでしょ。その時にみせればよかったね。ごめんね。」

花ちゃん 「ここで復習ふくしゅうですが、カイコというのは、まゆから絹糸きぬいとをとるために、飼育しいくされているガの仲間なかまなんですよ。ところで、原種げんしゅってなんですか。もう少しすこくわしくお話ししてください。」

モンタ博士「原種げんしゅってというのは、品種改良ひんしゅかいりょうとって、人間にんげんが手をくわえてよりよいものにするしことで、その元もととなる、もともとの野生やせいの植物しょくぶつや動物どうぶつという意味いみなんだ。」

オー君 「つまり、カイコというのは、5000年ねんくらい前まえから、クワゴという種類しゅるいのガを人間にんげんが実験じっけんしながら改良かいりょうし、作った虫むしということなのさ。」

モンタ博士「さすが、オー君。よく知っているね。感心かんしん。感心かんしんだね。」

花ちゃん 「そうですね。オー君。かっこいいですね。」

モンタ博士「クワゴのまゆは^み見ている、^{ようちゆう}幼虫は^{はじ}初めてかな。クワゴのまゆというのは、
^{した}下の^{しゃしん}写真のようになっているので、よく^み見てごらん。今でも^{いま}たまにクワの
^き木の^{えださき}枝先などについているのがあるから、^み見つけるのも^{たの}楽しいよ。



カイコのまゆとどちがうだろうね。」

オー君 「カイコのまゆとはちがって、ちょっと色がついていますね。」

花ちゃん 「それから、カイコより少し小さいみたいだし、丸くないね。」

オー君 「カイコの^{なかま}仲間なのに、ぜんぜんちがね。」

モンタ博士「それじゃ、どんなところが^{おな}同じだろうね。」

花ちゃん 「糸が^{いと}いっぱいあるところかな。」

オー君 「^{かたち}形は^{すこ}少しはにているよ。それから、クワゴも^{くわ}桑の^は葉を^た食べるんですね。」

モンタ博士「そのとおりだね。どのくらい^た食べるんだろうね。モンタ博士も知らないよ、

ともかく、^{おな}同じこととちがうことを^{かんさつ}きちんと^{たいせつ}観察してみることが大切なんだ

よ。^{ひかく}比較して^み見るといのは、とても^{かがくてき}科学的な^{みかた}見方なんだ。それから、^{からだぜん}体全

^{たい}体を使って^{かんさつ}観察することも^{たいせつ}大切だよ。みんなの^す住んでいるこの^{くにたち}国立や^{やほ}谷保

には、^{しょくぶつ}いろいろな^{むし}植物や虫がいるだろう。そういうものに、これからも

^{きょうみ}興味や^{かんしん}関心をもって、^{かんさつ}たくさんの^{たの}観察をして^{たの}楽しみましょう。」